

## 令和2年度事業計画

はじめに

平成に生まれ、地域の皆さまに育まれてきた宗像ユリックスは、文化芸術、スポーツと健康、生涯学習の広域的な交流拠点としての役割を果たしながら、令和2年に32年目を迎えます。

安全安心な施設運営を継続していくために、職員の雇用の安定化や、施設の老朽化への対応が求められる一方で、消費税率の引き上げや少子高齢化など、財団を取り巻く環境は依然厳しい状況です。

令和2年度については、中長期的な視野を持ちつつ引き続き「快適環境の提供」「感動の提供」という2点を念頭に、宗像ユリックスの運営を進めたいと考えております。

まず、「快適環境の提供」については、老朽箇所の補修、施設の保全、美化、植栽管理を計画的に行い、お客様に快適で安心安全な環境を提供してまいります。緊急を要する改修については、設置者である市と綿密な協議を行い、適切に対応していきます。

次に、「感動の提供」についてです。

すでにユリックスでは、施設を飛び出して地域に感動を届けようと「音楽アウトリーチ事業」を展開しております。令和2年度も前年に引き続き、音楽に加えて「ダンス活性化事業」など、新たな分野の感動を届けていきます。また3年目となる、にっこり文化講座では、順調に増えつつある受講生を更に増やすべく、育児中のお母さんでも受講しやすいように託児を継続し、春休み、夏休み期間の子ども向け講座を拡充し、驚きと感動の種を撒いていきたいと考えております。

第4期指定管理の3年目となる令和2年度、宗像ユリックスでは中長期的な視野を持ちつつ、職員一同「快適環境の提供」「感動の提供」に取り組んでまいりますので、これからも変わらぬご指導ご協力をお願いいたします。

## (1) 基本方針

公益財団法人宗像ユリックスは、「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」を縦糸、「宗像市文化芸術振興条例」を横糸に、そして市や市民、利用者、各種団体との連携や協働から生じるエネルギーを動力源として、機織り機「宗像ユリックス」を使って、人々の生活に潤いと心に豊かさをもたらす文化芸術の機を織り上げていきます。

### ① 音楽のあふれるまちづくりに向けた活動

地域の元気ある未来づくりに寄与するため、幼少・学生など若い世代に重点をおき、アウトリーチ事業などの子どもの発育段階に資するための鑑賞・体験事業を計画的に実施します。

### ② 文化芸術の振興事業の推進と関係機関との連携

宗像ミアレー音楽祭、アウトリーチ事業、健康増進事業など文化芸術、歴史、科学、スポーツ及びレクリエーションに関する様々な事業をコミュニティ運営協議会や大学など各種団体と連携して実施していきます。

### ③ 健全財政への取り組み

収入改善のため、各施設の利用率、コンサートのチケット販売率の向上を目指すとともに収入に応じた経費の適正化を図ります。また、新しい財源の確保のため、税制優遇制度を活用しながら、市民、団体、企業からの寄付を募ります。

### ④ 「安全・安心」の宗像ユリックスを目指して

アンケートの結果や利用者の意向を踏まえて、これからも利用者が安全に、安心して利用できる施設として、老朽化対策や維持管理のための改善を市と連携して行っていきます。

## (2) 事業運営

### ① 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

市内はもとより、近隣市の企業や学校、プロモーターなどへの広報活動を行い、新たな顧客を創造し、貸出施設の利用率向上と利用料金収入の増加を図る。

また、利用者のニーズを的確に捉えて、新たな施策立案を行なうとともに、施設利用状況の分析を行ない、定期利用者の確保や利用者数や利用料金の増加を目指す。

#### ・利用者数増への取り組み

集客力のある大型イベントの誘致や定期利用者の獲得を目指して、広報活動を行う。

「スタジオ当日受付の半額割引」を継続し、人気の企画である「舞台上で気軽にピアノレッスン」の利用推進など、利用者に定着した施策を提供していくとともに、館内レストラン、ワゴン販売店舗との連携を図り、利便性を向上させるなど、新たな施設稼働率向上の施策立案及び実施を目指す。

#### ・職員の接客対応スキル向上

窓口での接客・電話対応レベル向上を目指し、職員の積極的な研修への参加を行なう。

#### ・にっこり文化講座事業による施設利用率維持

にっこり文化講座事業との連携により利用率向上、館内活性化を目指す。

#### ・貸出備品の精査と改善

利用者からの要望が多い備品の新たな整備や、劣化した備品の改修により、利用者の利便性向上を図る。

#### ・学習室の運営

昨年度より、宗像市に代わって当財団が利用料金を負担し、学習室を継続してきたが、今後は利用者負担やサービス終了も視野に入れ検討を行う。

以上の施策を踏まえ、今後も利用者ニーズに沿った施設運営とサービスの導入を続けながら、「利用料金収入」、「施設稼働率」、「利用者数」の3大指標の向上を目指す。

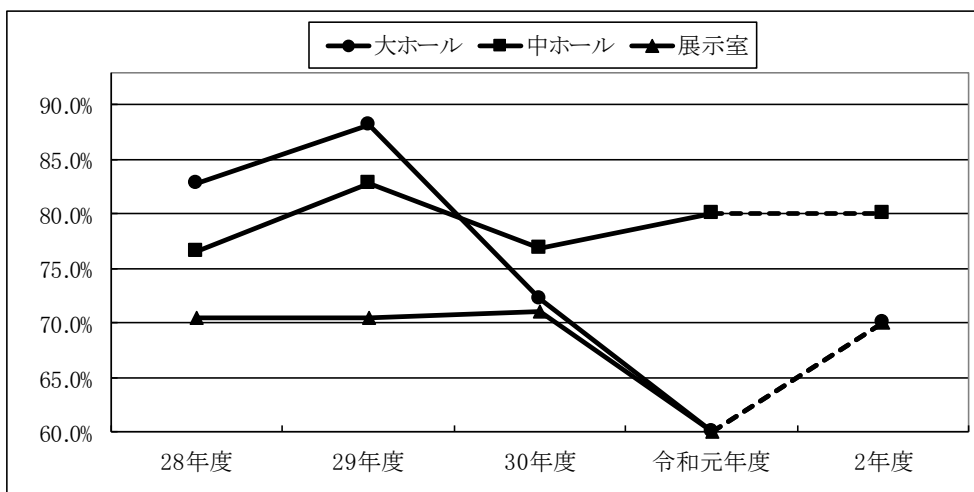
【 数値目標 】

・ 3大施設利用率の推移

※元年度は見込値、2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
3大施設利用率	76.6%	80.4%	73.4%	66.7%	73.3%
大ホール	82.8%	88.2%	72.2%	60.0%	70.0%
中ホール	76.6%	82.8%	76.9%	80.0%	80.0%
展示室	70.5%	70.4%	71.0%	60.0%	70.0%

※利用率は、貸出可能日数のうち利用された日数の割合



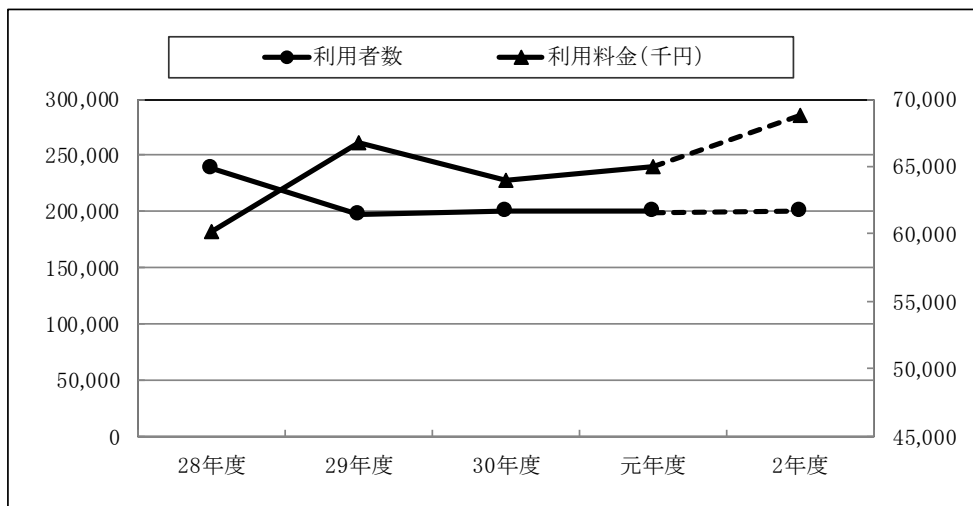
・ 本館利用者数、利用料金の推移

※元年度は見込値、2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
利用者数	238,980	197,046	201,000	200,000	201,000
対前年比	100.7%	82.5%	102.0%	99.5%	100.5%
利用料金(千円)	60,102	66,727	64,000	65,000	68,770
対前年比	115.7%	111.0%	95.9%	101.6%	105.8%

※利用者数：本館一般施設利用者（図書館を除く）と視察者の合計人数

※利用料金：本館一般施設の利用料金収入額



## ② 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

令和元年度（平成31年度）は、北ゾーンの空調機器改修およびテニスコート照明のLED化等の改修工事、南ゾーンでは一部未着手であった屋外照明のLED化工事が実施された。令和2年度は、老朽化している雨水配管をはじめとした施設の改修を行なう。施工にあたっては、利用者とのトラブルや事故が起こらないよう、十分な調整を行っていく。

また、財団で行う修繕工事は迅速に対応し、施設の長寿命化やユリックス来場者の事故ゼロを目指す。

公園内の植栽管理は着実に実施されており、継続して今年度も更なるレベルアップを目指していく。特に南ゾーン芝生広場の芝生再生のため、毎年1月から5月の間はランニングを規制する。ホームページ、公園内放送、看板等により周知を行っている。

安全管理として、各設備の法定点検の徹底及び、例年実施している防災訓練を継続して実施し、不特定多数の来場者をお迎えする施設に勤務する、全職員の意識の維持向上を図っていく。

### 【 修繕状況 】

※令和元年度は見込値

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
修繕発生件数（件）	133	122	109	111	130
対前年度比	-	91.7%	89.3%	101.8%	117.1%
修繕費（円）	23,279,194	21,137,981	19,063,810	18,772,583	21,000,000
対前年度比	-	90.8%	90.2%	98.5%	112%

### ③ 収 2 「利用者サービス事業」

#### ・自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために公園内の33ヶ所(うち5ヶ所は東京オリンピック2020聖火リレー記念自動販売機)に自動販売機を設置しており、売上額の15～35%を手数料収入としている。来館された多数のお客様にご利用いただいている。

定期的な機器の更新や設置場所の見直しを行うことで、利用者へのサービス提供を行い、結果として手数料収入の増加と利用者の利便性の向上を目指す。

#### ・物品等販売事業

本館インフォメーション窓口において、傘、切手、収入印紙、テニスボールなどの販売事業を行なっている。一定の需要があるため、継続して販売を行っていく。また、常に新たなサービスを模索し、より一層の利用者サービスの向上と収入の確保に努める。

また、弁当等の注文代行サービスを積極的にお勧めし、手数料収入の増加を目指していく。併せて、館内レストラン事業者との連携を推進していく。

#### ④ 公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

第四期指定管理期間は、「普及・参加・育成型事業重視」の方向性を堅持しつつ、宗像市文化芸術振興条例に定められた理念である「文化芸術に親しめる環境整備」、「文化芸術のための人づくり」、「文化芸術を活かしたまちづくり」の実現に向けた具体的な取り組みを宗像市と協働し推進する。

また、第三期指定管理期間よりスタートした「スマイルキッズプログラム」は、子育て・教育の分野への継続的・体系的な事業展開による地域の活性化と顧客の創造を目的としており一定の成果が感じられるが、今後も一つひとつの事業をブラッシュアップしながら、進化を続けることで、地域の人々の期待に応えていく。

そして、宗像ミアーレ音楽祭をはじめとした様々な事業を通して、地域の人々を取り巻く社会的状況等に関わりなく、人々が潤いを感じ、心豊かな生活を実現する、「新しい広場」としての劇場・音楽堂を目指していく。

##### ・文化芸術に親しめる環境整備

<コミュニティ運営協議会・学校との連携による鑑賞機会の創出>

アウトリーチ事業は各地区コミュニティ運営協議会、学校との連携協力を図りながらより積極的に推進し、長期的・継続的なプログラムとして展開していく。今年度も、子どもの発育段階に応じたアウトリーチ事業として、「未就園児とその母親」、「幼稚園・保育園児」、「小学生」、「中学生」を対象に実施する。今後も更なる質の向上を図り、経験品質を高めていく。また、鑑賞型事業との関連性を訴求することで、事業効果も高めていく。

そして、平成30年度より(一財)地域創造の「公共ホール現代ダンス活性化事業」に取り組んでおり、新たなジャンルでの企画制作能力の向上を図るために継続的に取り組んでいく。

##### ・文化芸術のための人づくり

市民文化活動の活性化を見据えて、文化芸術の担い手の養成や交流を積極的に推進していくため、財団のコーディネーター機能を高める。積極的な外部研修参加や先進地視察の実施などを通して、コーディネーターのスキル向上を図っていく。併せて、アーティストや地域との積極的な交流を通して、必要となる専門性や地域特性の情報について、時間をかけて蓄積していく。

・文化芸術を活かしたまちづくり

＜宗像ミアレー音楽祭の継続ほか＞

「音楽があふれるまち・宗像」の中心的イベントとして実施している宗像ミアレー音楽祭を核として、日常的に市内各所で市民が音楽を親しむことができる環境提供を目指し事業展開を行う。宗像ミアレー音楽祭は、平成26年度から連続する2日間で実施してきており、一つひとつの事業に丁寧に取り組むことができている反面、台風シーズンであることから天候不順の可能性が高く、実際に「平成30年度」、「令和元年度」は台風のためミアレー音楽祭の出店や、多くの公演が中止となった。令和2年度は、万が一に備えるとともに、事業内容に新規性・独自性を加えるためにも、9月～11月にかけて分散して実施し、多くの顧客に支持される音楽祭として再構築していく。ホールコンサートはもちろん、アウトリーチ、市民ステージの評価も高く、この形態を維持していく。そして、本音楽祭の大きな特徴は市民参画であり、市民の祭り、ハレの空間として位置付けて取り組む。また、「楽器体験」、「ユリックスジュニアブラス」、「中学校吹奏楽部の学校別の奏法指導・合奏指導」、「ミアレー吹奏楽団500人コンサート」を主軸として、吹奏楽活性化に向けた事業の流れをつくっていく。

＜スマイルキッズプログラム＞

次代を担う子供たちが文化芸術を体験する場を積極的に提供し、直に触れることで生まれる感動や喜びを通して、豊かな感受性を育むことを目的とする。また、「スマイルキッズプログラム」を実施することで、宗像市が都市ブランドとして目指す「子どもがすくすく育つまち」・「子どもにやさしいまち」の実現に貢献し、公共ホールとしての役割を果たしていく。夏季を除いて毎月開催している「すくすくコンサート」が好評であり、需要が高いことから、今年度も発展形としての「すくすくワンコインコンサート」を定期的で開催し、社会的な制約の多い未就園児とその保護者の期待に応えたい。この多くの事業で構成される「スマイルキッズプログラム」は社会的課題解決を意識した投資事業として位置づけて継続的に実施するとともに、専用広報紙を作成し、事業そのものの認知度を高めていくことで、宗像ユリックスに対してロイヤリティをもつ顧客の育成につなげていく。

**【スマイルキッズプログラム対象事業】**

- ・いきいき出前コンサート(幼稚園・保育所・小学校・中学校対象など)
- ・すくすくコンサート(アウトリーチ事業+ホール事業)
- ・むなかた子ども芸術祭
- ・ユリックス ジュニアブラス
- ・ジャジャジャジャーで始まる・わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験 夏・冬
- ・九管ポップス ファミリーコンサート 他



・連携体制

宗像市・教育委員会・各地区コミュニティ運営協議会等との連携を積極的に行うことで、事業効果をより高めていく。現在、「いきいき出前コンサート」を積極的に推進することを目的として覚書を締結し、各地区コミュニティ運営協議会と連携した活動を行っている。本年度も連携関係を深めながら、事業を実施していく。

・「ユリックス スマイルクラブ」運営

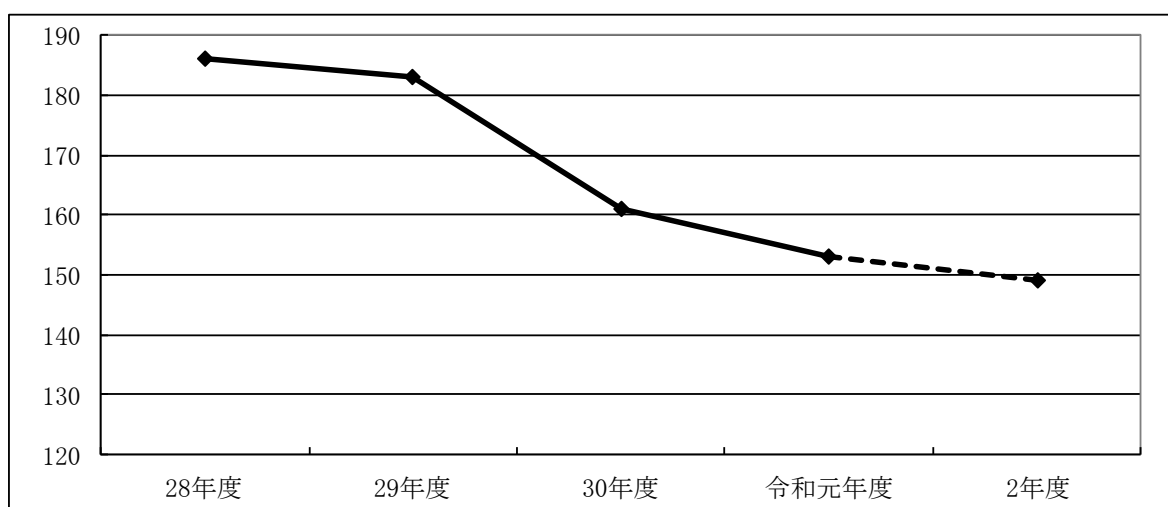
会員価格やポイント付与など、宗像ユリックスの会員制度である「ユリックス スマイルクラブ」に加入することのメリットを事業の際に広く告知し、会員増を目指す。

【数値目標】

事業本数（ジャンル別）

※令和元年度は見込値、2年度は予定値

事業ジャンル	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
音楽（クラシック）	11	12	15	13	6
音楽（クラシック以外）	12	13	12	7	9
映画	15	11	12	12	12
演劇・古典芸能	4	4	3	3	2
美術	2	4	3	2	1
アウトリーチ	96	85	87	80	80
その他	46	54	59	36	39
合計	186	183	191	153	149



## ⑤ 公2「文化芸術振興事業（文化講座運営事業）」

「にっこり文化講座」は、504人からスタートし、2年目では約700人と、順調に受講者数を増やしている。3年目となる今年度は受講生780人を目標に、運営や広報活動を行っていく。講座内容は、宗像ユリックスの特徴を活かした音楽、絵画、文学やスポーツの分野の創設を模索していく。シニア層に人気の教養を高めるための文学・歴史などの講座は1年間通じて開講するより短期講座に需要があり、常設講座に限定していた新規講座を短期や単発講座に切り替え、積極的に開設を図っていく。また、無料の託児を設定し、子育て世代の人が気軽に受講できる環境を継続する。タイムリーで魅力的な文化講座を提供し続けることが、宗像ユリックスへの新たな来館目的となり、施設稼働率の向上にもつながる。

### ・特徴ある講座の創出

音楽に親しむ場を提供し、独唱、合唱、器楽演奏など誰でも長期間楽しめる講座の充実を図る。また、宗像市では、福岡県立美術館の巡回展が毎年開催され、また「中村研一・琢二生家美術館」や「ゑほんの蔵 清水耕蔵・絵本館」なども存在し絵画に接する機会も多く、美術に関する講座も大きな柱の一つとなる。

### ・子育て世代へのアプローチ

木曜、金曜午前中は無料託児を継続し、新たな顧客層として子育て世代の受講を促していく。また、小学校に導入されるプログラミング教育や夏休みの工作教室など、小学生を対象にした講座の新設や継続を行う。

### 【数値目標】

常設 100 講座 その他 37 講座 常設講座受講生 780 人

事業名	講座数	概要
常設講座	100 講座	音楽、美術、美容健康等（毎月定期開催）
スポット講座	3 講座	料理健康等（年4回または3ヶ月講座）
短期講座	20 講座	夏休みこども工作等（短期間集中）
単発講座	10 講座	文学・歴史等（1回のみ開催）
文化講演会	4 講座	文化関連、放送大学共催など

## ⑥ 公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

来場者のニーズを先取りしたプログラムの提供、天体観望会や小学生向けの講座「ほしぞら友の会」の実施、ボランティアの活動支援など、地域に根差した活動などを継続している。全国的にプラネタリウム来場者数が伸び悩む中、同規模の中では健闘をしているところである。今年度は、これまで実施してこなかった、新たなジャンルのプログラムを実施し、新規顧客を開拓したい。現在の機器が寿命を迎えており、安定した運営のため、機器更新を働きかける。

### ・来場者に合わせたプログラムの提供

年齢層など、来場者に合わせたプログラム提供を続けてきた。また、専門解説員による全編生解説を実施することで、近隣他館との差別化ができ、独自の魅力となっている。しかし、消費税増税を始めた社会情勢の変化から、消費低迷が進みリピート率が低下している。今年度は、新たなジャンルのプログラムを模索し、新規顧客の開拓と継続した来場者増を目指したい。

こども向けプログラムは、来場者がいつ来ても違った内容を楽しめる取り組みが功を奏し、安定した集客を保っている。今後もこの方針を続けていきたい。

リラクゼーションプログラムは、概ね好評であるが、演出のマンネリ化や使用楽曲の質の低下などの課題がある。来場者のニーズを鑑み、今後の展開を検討していく。

おとな向けプログラムでは、人気のある「オーロラ」や「ブラックホール」、ノーベル賞を受賞した「系外惑星」をテーマとするなど、話題性のあるプログラムを実施していく。

また、プラネタリウムのドーム空間を活かした新たなイベントとして、「QUEEN —HEAVEN—」という映像・音楽作品の上映を実施する。

### ・団体利用の促進

学校団体利用は、児童・生徒にとって貴重なプラネタリウム体験の機会であり、市内学校による利用が定着している。今後利用率が減少しないように努めたい。また、保育園・幼稚園や、放課後等デイサービスによる団体利用が好調である。今後も、こうしたニーズに対応し、柔軟に団体予約を受け入れていきたい。

### ・天文普及に関わる事業

天文普及に関する事業として、毎年春から秋の時期に計5回実施している観望会「ほしぞらウォッチング」の他、通年で月1回の小学生対象の講座「ほしぞら友の会」を行っている。これらの天文普及に関する事業を通じて、科学に対して興味・関心を持ち、正しい科学知識、活

用能力を持つ子どもたちを育み、将来を担う人材育成の場としていきたい。

また、夏には部分日食、秋には火星の準大接近、土星と木星の接近など、話題性の高い天文現象が目白押しである。こうした機会を逃さず集客へと繋げたい。

・ほしぞらスタッフ（ボランティア）による天文普及活動の支援

ほしぞらスタッフ（ボランティア）は、現在、市内外より 44 人の登録がある。観望会や各種イベントの企画・実施など幅広く活動していただいている。今後、ボランティア自身が楽しめるような活動のあり方について検討していきたい。

・広報活動の工夫

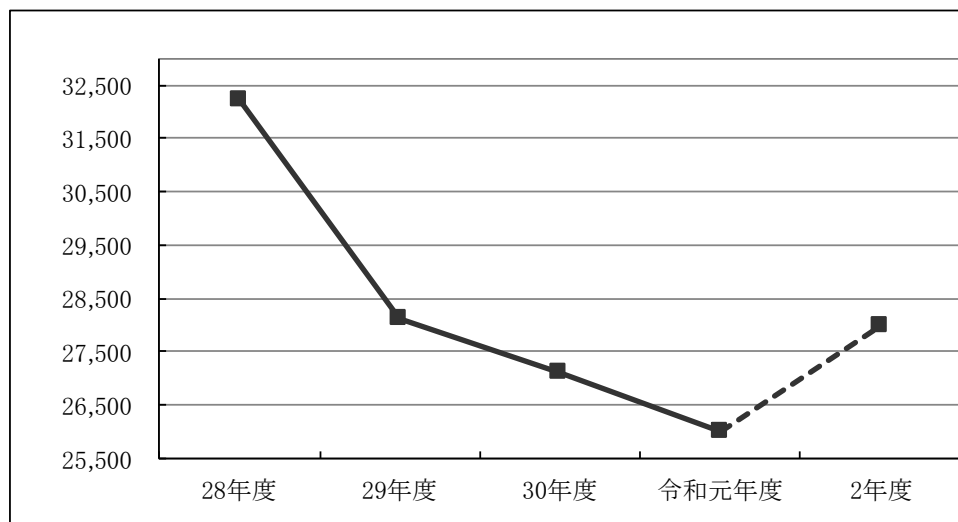
これまで学校や幼稚園・保育園、放課後等デイサービスなどの団体に向けて、案内書の送付を続けている。さらに、市内小学校の利用者（児童）には招待券を配布し、その後の来場に繋げる工夫を行っている。また、個人来館者に対しては、アンケート回答者（5,500 件）への案内書送付など、入場者数増に向けた広報活動を継続してきた。また、近年は Facebook や Twitter など、SNS の口コミを利用した広報も一定数の効果をあげていることから、こうした手法を活用していきたい。

【数値目標】

・プラネタリウム入場者数の推移

※令和元年度は見込値、2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
入場者数（人）	32,225	28,119	27,119	26,000	28,000
対前年比	114.3%	87.3%	96.4%	95.9%	107.7%
対前年人数	4,039	△4,106	△1,000	△1,119	2,000



## ⑦ 公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

### ●アクアドーム

国や宗像市における、健康・スポーツに関する計画等の趣旨・基本理念等と合致することを基本に、利用者の「総合的健康の維持向上」を行なう。

#### ・広報活動

健康づくりに関する情報収集や情報発信は、ホームページやアクアドーム新聞等広報媒体によって行っていく。ついては、主な事業であるウエルネスクラブ及びスイミングスクールの新規受講者獲得のために、ネーミング等の変更を考えていきたい。また、広報紙や、宗像・福津地域のフリーペーパーを通してサービス向上施策の周知を行なう。紙面上には、温水プールのクーポン券を添付し、アクアドームの利用促進を図る。更に、アクアドームで行われるイベント情報や健康情報を簡単にまとめた「月刊アクアドーム新聞」を市内各コミュニティセンターに配布する。

#### ・宗像市の健康づくり事業を積極的に実施

市の施設として、特定保健指導や介護予防事業、スポーツ推進計画など、宗像市の健康づくり事業を積極的に実施する。特定保健指導の積極的支援、動機づけ支援、特定健診結果説明会での運動指導、特定保健指導対象者に指導参加を促す電話勧奨を行う。スポーツサポートセンター及び宗像市スポーツ協会との連携を強化していく。

#### ・シニアクラブ連合会との連携

宗像市スポーツ推進計画にある「ノルディックウォーク」を広める活動の支援を行なう。

#### ・助成事業枠拡大へ向けた動き

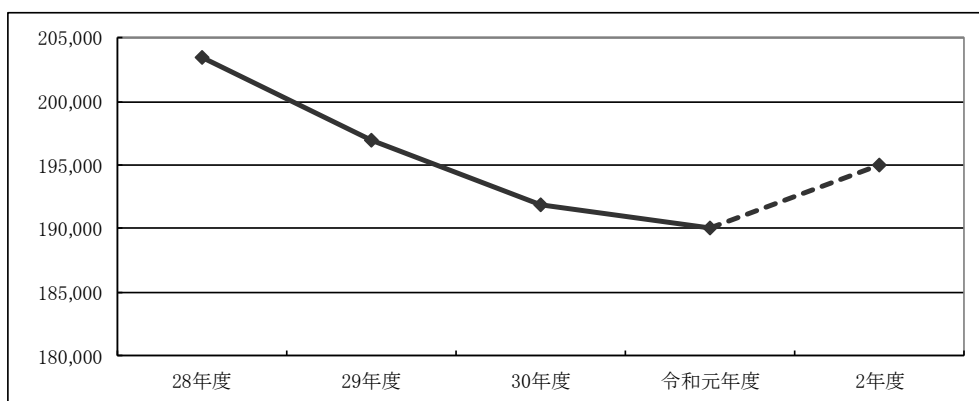
施設利用者増を目指し、宗像市運動施設利用料金助成事業の枠を広げることを宗像市国保医療課に働きかけていく。

【数値目標】

アクアドーム入場者数の推移

※令和元年度は見込値、2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
入場者数（人）	203,418	196,902	191,925	190,000	195,000
対前年比	102.6%	96.8%	97.5%	99.0%	102.6%



● ゆ〜ゆ〜プール

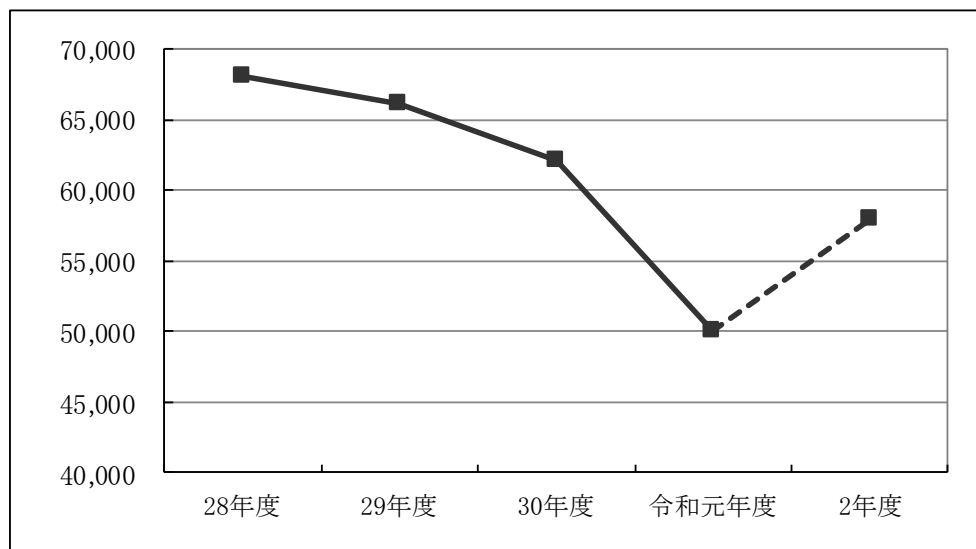
プールサイド等の利用環境が改善され、より快適なレジャープールとなっている。これに併せ、幼児・小学生低学年が楽しく安全に遊べるサービスを実施していく。

【数値目標】

ゆ〜ゆ〜プール利用者数の推移

※2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
入場者数（人）	68,089	66,159	62,091	50,003	58,000
対前年比	135.1%	97.2%	93.9%	80.5%	116.0%
対前年人数	17,684	△1,930	△4,068	△12,088	7,997



### ⑧ 公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

健康増進事業や様々なスポーツイベントを開催することにより、心身健やかな市民と活力のある地域づくりを目的とする。

#### ・手作り教室の開催

日常、お店で購入している食品の手作り教室を開催。食育をベースに伝統知識の伝承や、健康づくり情報を提供し、地域の活性化を図る。また、管理栄養士により、手作りした食品の栄養面に関するアドバイスを行う。更に、作業工程中や作業終了時に、運動指導員が健康づくりアドバイスやストレッチ等を行なう。

#### ・若年層をターゲットとして取り組み

30歳代を中心とした若年層をターゲットとした、スタジオ祝日イベントを開催する。また、ナイト会員の若年層増加を目指し、平日夜及び日曜日に、スタジオプログラムをそれぞれ2レッスン、合計4レッスンを新規開催する。

#### ・温水プールの利用促進

プールの利用促進を目的に、利用しやすい1時間単位での利用方法を検討する。

#### ・スタジオAの稼働率向上

施設使用料・付属設備の利用増を目指し、1時間単位での利用方法を検討する。

#### ・ランニング練習会を実施

ランニング初心者や愛好家を対象とした、ランニング練習会を年間10回予定。広報紙に情報を掲載し、アクアドーム利用者以外の受け入れも行う。うち1回は、郊外へ出て20kmチャレンジラン及び懇親会を実施する。

#### ・「水中運動教室」「初級水泳教室」を開催

7月・8月のスイミングスクール休止期間に、1回ごとの参加費を支払って参加できる教室を実施する。

- ・アクアビクスイベントを開催。

普段、水泳のみの利用者や、アクアビクスをしてみたい方を対象に、アクアビクスイベントを実施し、スイミングスクール全体の活性化を行なう。

- ・一般利用者向けスイムビデオ撮影を実施

ウエルネスクラブ会員のみでなく、スイミングスクール受講生や一般利用者向けにスイムビデオ撮影を行う。

- ・登山イベントを開催

宗像市商工観光課が発行している「宗像・岡垣登山マップ」を活用した登山イベントを行う。

- ・ノルディックウォーキングイベント

宗像市のスポーツ推進計画で推奨されている、ノルディックウォークを実施。宗像市が発行している『宗像市ウォーキングマップ』を活用。

- ・栄養分析を新たに実施

簡易的に、より実践しやすいシステムで栄養分析を行なう。アクアドームの特徴を出し、他施設との差別化を図る。

- ・ウエルネスクラブ会員限定で、スタジオA開放

スタジオレッスンが行われていない時間帯に、ウエルネスクラブ会員限定でストレッチ等のスペースとしてスタジオAを開放し、利用者の利便性向上を図る。



⑨ 公3 「健康増進事業（テニスコート）」

・テニスコート

年間約 20,000 人が利用するテニスコートは、経年劣化によるコートの傷みが目立つようになってきている。定期的なメンテナンスによって、ご利用のお客様が怪我をしないように維持管理を続けていく。

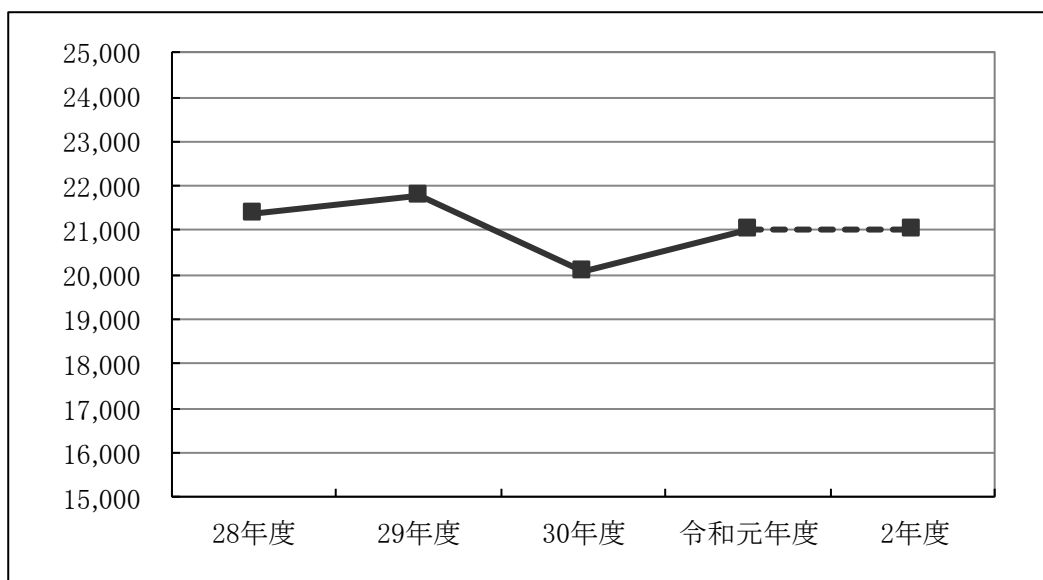
また、予約受付方法について現状、電話または来館受付のみとしているが、インターネットを利用した予約受付の方法を検討し、より利用しやすく選ばれるテニスコートになるように進化させていく。

【数値目標】

テニスコート利用者数の推移

※令和元年度は見込値、2年度は目標値

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
利用者数（人）	21,372	21,797	20,068	21,000	21,000
対前年比	96.7%	102.0%	92.1%	104.6%	100.0%



### (3) 法人運営

#### ① 組織・運営体制

令和元年度は機能的な組織運営を目的とした機構の見直し、にっこり文化講座の事務所移転、中核職員の異動を行い、組織運営の充実化を図った。

また、社会環境の変化、雇用環境を取り巻く状況から、人材の確保が困難な状況が続いている。組織が期待する人材を継続雇用し、安定した組織運営を続けていくために、中長期的な人事計画を策定する。人材は組織にとって重要な資産であることから、人材の育成・確保を目的とした職員研修の充実などを図り、職員全員の能力を向上させるとともに、組織力の強化を図る。

#### 公益財団法人宗像ユリックス職員数

(令和2年4月1日現在)

職 種	総務部	文化事業部	施設営業部	計
中 核	3	1	1	5
専 任	1	2	1	4
嘱 託	4	3	4	11
臨時A	4	1	7	12
臨時B	0	3	4	7
計	12	10	17	39

#### ② 財政運営

令和元年度は、夏の長雨の影響や、台風の周期的な襲来に加え、プラネタリウムの空調改修による半月の休業、新型コロナウイルス感染症などの影響により、施設利用者数が低調に推移、厳しい財政運営を強いられた。

また、施設利用料金の見直しや消費増税による料金改定もあり、柔軟な対応が求められた。

令和2年度は、新たな事業収入の開発や事業規模・内容の見直しに取り組み、財政安定化に向けた収支改善に取り組んでいく。

#### 指定管理費の推移

予算ベース 年額	第一期 指定管理費	第二期 指定管理費	第三期 指定管理費	第四期 指定管理費
管理運営コスト	357,308,000	346,083,000	368,828,000	367,328,000
対前期増減額	—	△11,225,000	22,745,000	△1,500,000